

絶滅のおそれのある野生生物について考えよう

時 期	いつでも
時 間	3～4時間
場 所	図書室、パソコン室

- 「レッドデータブックとちぎ」を読み、身近な絶滅のおそれのある野生生物について調べる。
- 身近な絶滅のおそれのある野生生物について、数を減らした原因を調べ、保全していくためにはどうしたらよいか考える。



ねらい

- ・身近に、絶滅のおそれのある野生生物が多くいることを理解させる。
- ・絶滅のおそれのある野生生物について調べ、その保全について考えることで、自らも生態系の一部であることを実感し、野生生物や自然に対する態度を育成する。

教科に見る活用場面

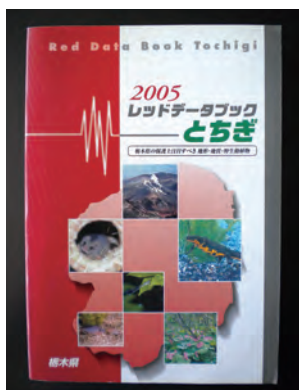
- ・中学校 理科（第3学年）「自然と人間」
- ・高等学校 理科（生物基礎）「生物の多様性と生態系」（生物） 「生態と環境」

活動の内容

- (1) 図書館にある「レッドデータブックとちぎ」を読んで、見たことのある生物、見たことはないが知っている生物をワークシート①に書き出す（ページ数が多いので興味に応じて、対象とする分類群を決めて行う。また、「レッドデータブックとちぎ」がない場合には「レッドデータブックとちぎ」のホームページから調べる。）。
- (2) (1)で書き出した生物のレッドリストにおけるカテゴリーをワークシート①に記入する（栃木県のカテゴリーと環境省版のカテゴリーの両方を記入する。）。
- (3) 書きだした生物のうち一種を選び、その生物はなぜ減少したのか、その原因を文献やインターネットを使って調べ、ワークシート②にまとめる（情報の多い、よく知られた生物を選ぶ。）。
- (4) (3)で選んだ生物を保護するにはどうしたらよいか考え、ワークシート②にまとめる。
- (5) まとめた内容を、模造紙やパワーポイント等にまとめて発表する。

準備するもの

- ・レッドデータブックとちぎ
- ・レッドデータブック環境省版
- ・パソコン（インターネット）



レッドデータブックとちぎ



環境省版レッドデータブック

活用ガイド

○指導上の工夫・留意点

- ・「レッドデータブック」には分類の難しい生物が多く掲載されているので、生徒がよく知る有名で情報量の多い生物に注目させるようにする。
- ・ワシ、タカ、ハクチョウなどの鳥類、サンショウウオやカエルなどの両生類、タナゴの仲間やイトヨ、メダカなど魚類は、各地で保護活動などが行われており情報量が多い。昆虫では、ホタル類、タガメ、国蝶であるオオムラサキなどは情報量が多い。
- ・栃木県指定自然環境保全地域の地図を用いて、学校や住んでいる場所の近くに生息する生物について調べさせてもよい。
- ・「レッドデータブック」が手に入らない場合や生徒の人数が多い場合には「レッドデータブックとちぎ」のホームページを利用してもよい。
- ・外来生物が存続を脅かしている原因であることも多いという点にも注目させるとよい。
- ・関連プログラムとして、「日本タンポポと外来タンポポを探そう」(p 70)がある。



○用語の説明

- ・レッドデータブック

レッドリスト（絶滅のおそれのある動植物のリスト）についてまとめた本のことで1966年にIUCN（国際自然保護連合）により作成されたものが始まりである。日本では、1991年に、環境省が作成したレッドリストに基づき、(一財)自然環境研究センターから「日本の絶滅のおそれのある野生生物」が発行された。レッドリストは随時見直しが行われており、最近（平成25年）では食用として生活に身近なニホンウナギが「絶滅危惧ⅠB類」に指定されたり、「絶滅」に指定されていたクニマスが再発見されて話題になった。

各分類群ごとに「レッドデータブック」が発行されている。また、「レッドデータブック」を作成している都道府県もあり、栃木県では「レッドデータブックとちぎ」が発行されている。

○発展学習

- (1) 身近に、絶滅のおそれのある野生生物の生息地があるか、栃木県指定自然環境保全地域の地図やインターネット、文献などで調べる。また、そこにはどのような生物が生息しているか調べ、ワークシート③に記入する。
- (2) 実際に、絶滅のおそれのある野生生物の生息地や保護地を訪れる。
- (3) その地域に、絶滅のおそれのある野生生物が生き残った理由を考えてワークシート③に記入する。

○活動にあたって参考となる文献やWebサイト

- ・「レッドデータブックとちぎ」 栃木県 <http://www.pref.tochigi.lg.jp/shizen/sonota/rdb/>
- ・「日本のレッドデータ検索システム」
NPO法人野生生物調査協会 NPO法人Envision環境保全事務所 <http://www.jpnrdb.com/>
- ・「生物多様性情報システム」 環境省 <http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html>
- ・「自然環境保全地域」 栃木県
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/eco/shizenkankyou/shizen/hozenntiiki.html>
- ・「希少な野生生物の保護」 WWF ジャパン <http://www.wwf.or.jp/activities/wildlife/cat1014/>
- ・「グリーントラストうつのみや」 <http://green-trust.jp/>
- ・「ミヤコタナゴの部屋」 関東地方環境事務所 http://kanto.env.go.jp/wildlife/mat/data/m_1_1/

①絶滅のおそれのある野生生物について考えよう

実施日	年 月 日 ()	年 組 番	氏 名	
-----	-----------	-------	-----	--

1 「レッドデータブックとちぎ」の中から対象とする分類群を決めよう。

--

2 1で決めた分類群の中から、これまでに見たことのある生物、見たことはないが知っている生物を下の表に書き出そう。

3 2で書き出した生物の「栃木県版レッドリスト」および「環境省版レッドリスト」のカテゴリーを記入しよう。

4 これまでに見たことのある生物については、どこで見たか、思い出して記入しよう。

和名	栃木県レッドリスト カテゴリー	環境省レッドリスト カテゴリー	どこで見た？
(例) ミヤコタナゴ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧ⅠA類	なかがわ水遊園

②絶滅のおそれのある野生生物について考えよう

実 施 日	年 月 日 ()	年 組 番	氏 名	
-------	--------------------	-------------	-----	--

1 ワークシート①で書き出した生物のうち、詳しく調べる1種類を選ぼう。

--

2 1の生物が数を減らした原因を文献やインターネットで調べ、まとめよう。

--

3 1の生物を保護していくにはどうしたらよいか考えよう。また、保護の取組の例があれば、それについてまとめよう。

--



③絶滅のおそれのある野生生物について考えよう

実施日	年 月 日 ()	年 組 番	氏 名	
-----	-----------	-------	-----	--



1 訪れた絶滅のおそれのある野生生物の生息地名を記入しよう。

--

2 この場所にはどんな生物が生息しているか調べよう。

※インターネットや文献、生息地に立つ看板などを参考に記入する。

※絶滅のおそれのある野生生物以外の生物名についてもわかる範囲で記入する。

--

3 実際に確認できた生物を記入しよう。

--

4 この場所に絶滅のおそれのある野生生物が生き残った理由を考えてみよう。

--

○レッドリストのカテゴリー

【栃木県版】

カテゴリー	基本概念
絶滅	県内ではすでに絶滅したと考えられる生物
絶滅危惧Ⅰ類（Ａランク）	絶滅の危機に瀕している生物
絶滅危惧Ⅱ類（Ｂランク）	絶滅の危険が増大している生物
準絶滅危惧（Ｃランク）	存続基盤が脆弱な生物
情報不足	評価するだけの情報が不足している生物
絶滅のおそれのある地域個体群	地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群
要注目	上記の区分以外で注目すべき生物

【環境省版】

カテゴリー		定義
絶滅（E X）		我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅（E W）		飼育・栽培下のみで存続している種
絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧ⅠA類（C R）	ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
	絶滅危惧ⅠB類（E N）	ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
絶滅危惧Ⅱ類（V U）		絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧（N T）		現時点では絶滅危険度は小さいが、生息状況の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足（D D）		評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群（L P）		地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い種

○栃木県指定自然環境保全地域



「栃木県自然環境課」の Web サイトより作成

番号	地域名	所在地	指定年月日	主要保全対象
①	鷲子山	那珂川町	S48.8.31	南方及び北方系植物自生地
②	氷室	佐野市	S48.8.31	ニホンザル、ヒダサンショウウオ生息地
③	箒根	那須塩原市	S48.8.31	モミの天然林
④	親園	大田原市	S48.8.31	イトヨ、ミヤコタナゴ生息地
⑤	多田羅沼	市貝町	S48.8.31	湿生植物自生地
⑥	佐貫観音	塩谷町	S48.8.31	チョウゲンボウ生息地
⑦	七千山	那須塩原市	S48.8.31(追加S51.1.31)	高山植物自生地 亜高山性植物、ブナ、ミズナラ等の天然林
⑧	作原	佐野市	S51.1.31	ミズナラ、クリ等の天然林及びヤマネの生息地
⑨	栃久保	佐野市	S51.1.31	ハコネサンショウウオ生息地
⑩	長谷場	佐野市	S51.1.31	両生類の生息地
⑪	出流山	栃木市	S51.1.31	暖地性シダの自生地及び鍾乳洞
⑫	鮎田	茂木町	S51.1.31	トウキョウサンショウウオ生息地
⑬	東高原	矢板市	S51.1.31	ブナ、ミズナラ等の天然林
⑭	松倉山	茂木町、那須烏山市	S52.7.19	暖地性植物の自生地
⑮	焼森山	茂木町	S52.7.19	希少植物の自生地
⑯	小塙	那須烏山市	S52.7.19	荒川の河蝕地形
⑰	石尊山	足利市	S52.7.19	アカマツの天然林
⑱	与洲	鹿沼市	S52.7.19	ニホンザル生息地
⑲	岩舟山	岩舟町	S52.7.19	希少植物の自生地、チョウゲンボウ生息地
⑳	尾出山	鹿沼市	S53.9.19	ブナ天然林及びウラボシヒカゲツツジの自生地
㉑	南高原	塩谷町	S53.9.19	ヒノキ天然林
㉒	根本沢	佐野市	S54.12.11	シオジの天然林、ガロアムシ、ムカシトンボの生息地
㉓	袈裟丸山	日光市	S57.6.22	高山性植物又は亜高山性植物、特異な地形、地質、希少植物の自生地、野生動物の生息地
㉔	湯西川	日光市	S61.1.21	トチノキの原生林、冷温帯の自然植生
㉕	尚仁沢	矢板市、塩谷町	H4.12.18	尚仁沢湧水、ブナ、ミズナラの天然林
㉖	弁天沼	日光市	H11.3.31	希少植物自生地、カラカネイトンボ生息地
㉗	鬼怒川中流域	宇都宮市、さくら市	H25.10.4	シルビアシジミ、カワラノギク等磯賢河原特有の希少野生生物の生息・生育地
☆	羽田	大田原市	H6.12.26	国指定ミヤコタナゴ生息地保護区

